

令和6年度 龍ヶ崎中学校 学校経営の基本構想

1 本校の校訓及び教育目標

【校訓】

自主 創造 感謝

【学校教育目標】

自立と創造へ向かう生徒の育成

【目指す学校像】

- ・思いやりとたくましさを培う学校
- ・職員のチーム力を発揮し、前進する学校
- ・生徒・保護者・地域の思いに寄り添い、信頼される学校

【目指す生徒像】

- ・豊かな感性をもった生徒
- ・しなやかな知性をもった生徒
- ・たくましい心身の生徒

【目指す教師像】

- ・「チーム龍中」の一員として、目標達成に向け一致協力する教師
- ・生徒一人ひとりの思いに寄り添い、情熱と使命感をもった教師
- ・常に自己の感性を磨き、創意工夫に努める教師
- ・教育公務員としてのサービスを遵守し、礼儀正しく信頼される教師

2 学校経営の基本方針

<経営理念>

生徒・教師・保護者・地域が信頼し合える学校づくり

- ① 生徒が主役となる学校づくり（誇り・夢）
- ② 保護者・地域と共に歩む学校づくり（地域貢献）
- ③ 全職員が支え合い、磨き合う学校づくり（人材育成）

<組織目標>

元気で楽しい学校づくり

- ・主体的に考え、前向きに行動する生徒の育成【自主】(学習指導)
- ・互いに認め合い、高め合う学年・学級 【感謝】(学級経営)
- ・創意工夫のある校務の企画・運営 【創造】(学校運営)

キーワード
「前へ」

3 学校経営の具体的な施策

(1) 豊かな心の育成

認め合い

- ① 生徒・保護者との絆づくり
 - ・学級経営、教育相談の充実
 - ・自己目標の設定とその取組, 反省
- ② 道徳教育の充実
 - ・感謝, 思いやり, 助け合いの心を育てる人権教育
 - ・考え, 議論する道徳の工夫・充実
 - ・心のこもったあいさつの徹底
 - ・命を大切にす教育の充実

(2) 確かな学力の育成

学び合い

- ① 学ぶ意欲の向上
 - ・主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくり
 - ・関心を高める課題の提示
 - ・表現力の育成
- ② 情報活用能力の育成（目的・手段を明確に）
 - ・必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集し、発信・表現できる能力の育成
 - ・タブレット端末、コンピュータやインターネットなどの情報手段の積極的活用
- ③ 読書活動の推進, 家読の啓発

- ・朝読書や図書館の積極的活用（司書との連携）

（3）健康・体力の育成 高め合い

- ① 自己管理能力の育成
 - ・新しい生活様式の確立 「with コロナ」
 - ・感染症対策の正しい知識の習得と実践
- ② 体力づくりの工夫と実践
 - ・計画的な体育授業計画
 - ・運動量を確保した体育授業の工夫
- ③ 安全な生活に関する意識の向上
 - ・情報モラル、薬物・喫煙防止・性教育、避難訓練など
 - ・登下校時の交通指導
- ④ メリハリのある部活動
 - ・段階的な地域移行を見据えた部活動運営

（4）特別支援教育の充実 支え合い

- ① 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援の充実
 - ・スキルアップを目指した校内研修の充実（事例研修）
 - ・特別支援学級と交流学級の連携強化
 - ・計画的、継続的なケース会議の開催
- ② 配慮を要する生徒に対する個別の指導・支援
 - ・配慮を要する生徒の共通理解と「個別の支援計画・指導計画」の有効活用
 - ・保護者や関係機関との積極的な連携

（5）開かれた学校づくり 地域との連携 ふれあい

- ① 小中一貫教育の推進、中高連携
 - ・「龍の子人づくり学習」を活用した系統的な指導
 - ・地域交流部会の推進
- ② 家庭、地域等との連携の推進
 - ・地域の人材や教材を活用した体験的活動の充実（龍の子人づくり）ゆめ学習
 - ・保護者、地域住民等、地域の教育力の活用
- ③ 学校の取組の積極的な情報発信（地域の関心に応える）
 - ・ホームページの更新
 - ・保護者向け通信の発信

（6）教職員の勤務意識・資質の向上 チーム龍中 磨き合い

- ① 専門職としての力量を高める研修の推進
 - ・実践的な校内研修の実施による授業力の向上
 - ・教員評価の活用による使命感の醸成と勤務意欲の向上
- ② 職場の協働体制の確立とメンタルヘルスの向上
 - ・報告・連絡・相談・確認・記録の徹底（よくない情報ほど早く）
 - ・教職員が生徒と温かく関わる基盤としての「**風通しのよい温かな職員室づくり**」
- ③ 業務効率化への意識
 - ・業務の精選を図る。（手段が目的化しているもの見直しや廃止）
 - ・勤務時間の適正化…時間対効果を踏まえた教育活動の見直し（働き方改革）
- ④ 教職員の服務規律の徹底・・・校内コンプライアンス推進委員会
 - ・三ない運動の徹底
 - ・情報モラルの確立（個人情報保護、セキュリティ意識の高揚）
 - ・確実な金銭管理（迅速かつ適切な会計処理）
- ⑤ 安全・安心の得られる管理体制の確立
 - ・危機管理マニュアルの確実な見直しと管理職不在時の緊急対応体制の確認
 - ・危機管理の意識に基づく安全点検の強化と適切・迅速な措置
 - ・人権教育、保健指導（感染防止対策）の強化